

令和2年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)

「劣化調査・診断」事前アンケート 集計結果

調査対象: 建築科3年課題研究「非破壊試験班」

調査人数: 8人

2 地震被害の差がなぜおこるのかについて、あなたが知っていることを選んで○をつけて下さい。

	4	10	14	20	22	31	32	39	計	割合
① 地形と地盤	1	1	1	1		1	1	1	7	88%
② 建築された年代	1	1		1		1	1	1	6	75%
③ 地震地域係数									0	0%
④ 建物の形	1								1	13%
⑤ ピロティ					1				1	13%
⑥ 構造的問題		1	1	1		1			4	50%

3 建築技術者としての考え方について思うことに○をつけて下さい。

- ① 建築基準法を満たしていれば、気になる点もあるが問題ない。(低コ)
- ② 建築基準法を満たしているが問題点もあることをきちんと注文者に説明する
- ③ 耐震性能をきちんと説明し、費用がかかっても実施すべきと提案する。

	4	10	14	20	22	31	32	39	計	割合
①							1		1	13%
②		1		1		1	1		4	50%
③	1		1		1	1	1	1	6	75%

4 地震地域係数を説明できる

	4	10	14	20	22	31	32	39	計	割合
① 全く解らない	1	1		1		1	1	1	6	75%
② ぼんやりと解る			1		1				2	25%
③ いくつかは解る									0	0%
④ ほぼ全て解る									0	0%

5 建物の形状、重心、剛心などが地震に与える影響を考慮して、どのような事に注意して建物の新築、維持修繕の計画を考えますか。

- ・部材の劣化などを考慮する。
- ・柱、壁など増やし、強く太くする
- ・接合部の金具を増やす
- ・施工図どおりに施工が行われているか確認をす

6 今回の授業に積極的に取り組み、学ぼうとする意欲がある。

	4	10	14	20	22	31	32	39	計	割合
① 思わない									0	0%
② どちらかと言えば思わない									0	0%
③ どちらかと言えば思う									0	0%
④ 思う	1	1	1	1	1	1	1	1	8	100%

